

## お礼の挨拶

平成 17 年 7 月に徳洲会に入職し、東京西、喜界徳洲会病院での経験を積み、故郷の徳之島徳洲会病院院長として業務に携わることができたことは非常に幸運だったと、しみじみ感じるこの頃です。



令和 2 年 10 月、徳洲会では創始者の徳田虎雄先生が、名誉理事長を授与されました。徳田先生が、徳洲会グループの今日の礎を作り、牽引してきたことを思う度、感謝の気持ちでいっぱいです。これまで病院の運営が継続できたのは、徳洲会グループやグループ外からの医師、看護師、コメディカル、事務職員などの応援と地元の支援、職員の絶え間ない努力によって継続されていると確信しています。看護師や医師の頑張りはもちろんのこと、毎日患者さんのおむつ交換や食事、入浴介助などを行っている裏方の人たちの業務に敬服しています。当院を支援してくださる方たちに、改めて深く感謝する次第です。いつもありがとうございます。

徳之島の将来については、新築移転の候補地が決定し、新病院完成が 2 年後に控えており、島に看護学校設立、老人の移住施設、海外向けの検診センターなどの複合施設をつくり、雇用を増やすことにより、若い人たちが島から出ず、生活ができる環境をつくるのが兼ねてからの私の夢です。

また、徳洲会が存続できているのは、離島・へき地医療に貢献すること、救急を断らない、医療過疎への医療提供などの社会貢献を行っているためだと思いますので、残りの人生を医療に貢献していく所存です。

最後になりましたが、私の家族、友人・知人、いろいろな病院職員の大勢の仲間たち、徳之島の医療に関わりました関係者の皆様ご支援ありがとうございました。深く感謝申し上げます。